

平成 26 年度 近畿河川技術研修 聴講のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、国土交通省近畿地方整備局、近畿地方の各府県、市町村等の河川技術者の技術力向上を図るため、各地域が抱えている課題等を取り入れて、近畿河川技術研修を開催することと致しました。本研修は平成 17 年度から開催しており、今年で 10 回目となりますが、これまでに多くの成果を上げてきたところでございます。

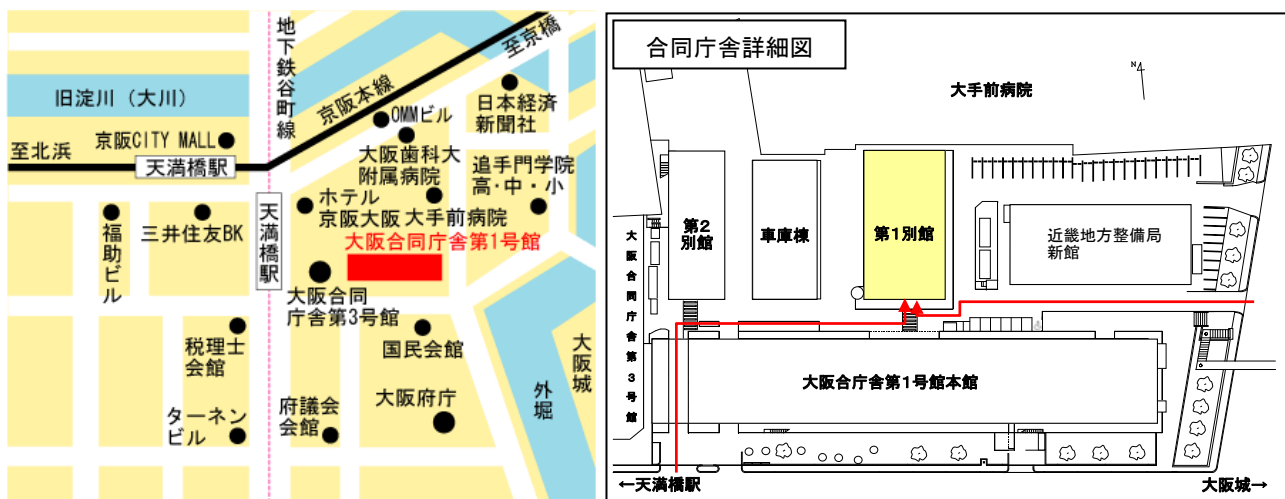
今回の研修は「各地で多発する豪雨災害への対応」をテーマに開催いたします。この機会に是非ご参加をいただき、河川関係の業務にお役立ていただきたいと願っています。

多数の皆様がご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

- 1. 目的** 河川関係の業務を担当する国土交通省、府県、市町村の職員及び各種団体の会員を対象に、今後の河川事業実施上の課題と問題点について、ともに学び議論する場を設けることにより、今後の河川関係の業務のスキルアップを図ることを目的に実施します。
- 2. 日時** 平成 27 年 1 月 29 日（木）～30 日（金） 2 日間
- 3. 場所** 大阪合同庁舎第 1 号館 第 1 別館 大会議室（2F）
大阪府中央区大手前 1-5-44 電話 06-6942-1141（代表）



最寄駅：

地下鉄谷町線「天満橋駅」3番出口から徒歩 2 分

（東へ約 100m）

京阪本線「天満橋」駅東口から徒歩 5 分

JR 東西線「大阪城北詰」駅 2 番出口から徒歩 15 分

4. 研 修 科 目 別紙のとおり
5. 受講予定人員 150名(別途、研修生(行政職員等)50名が参加予定)
及び受講対象者 どなたでも参加できます。
ただし、2日目は13時50分からの受講となりますのでご注意ください。
(受付は13:20~13:50予定)
6. テキスト代 無 料
7. 主 催 平成26年度近畿河川技術研修実行委員会
8. 共 催 国土交通省近畿地方整備局、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、一般社団法人建設コンサルタント協会近畿支部、一般社団法人近畿建設協会、公益財団法人河川財団、公益社団法人日本河川協会、一般財団法人河川情報センター
9. 申込み方法 別添申込み書に必要事項を記入の上送付してください。
*送付先 近畿地方整備局 河川部 地域河川課 西村、中村
E-mail chkas01@kkr.mlit.go.jp

申込期限

聴講生：平成26年12月24日(水)18時必着

ただし、期限前に定員に達した場合は期限前でも締め切らせていただきます。

10. そ の 他 (1)テキストは、当日受付の際にお渡しいたします。
(2)宿泊と昼食は各自で手配ください。
(3)修了証の交付は省略いたします。
(4)本研修は「土木学会CPDプログラム」として認定されています。

平成26年度近畿河川技術研修は、公益財団法人河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

平成 26 年度近畿河川技術研修 プログラム

開催日時 : 平成 27 年 1 月 29 日 (木) ~ 30 日 (金)

場 所 : 大阪合同庁舎第 1 号館 第 1 別館 大会議室 (2F)

研修テーマ : 各地で多発する豪雨災害への対応

月日	時間	講義科目	講師等
第 1 日 1 月 29 日 (木)	9:30~10:00	受付	
	10:00~10:10	実行委員会委員長挨拶	国土交通省近畿地方整備局 河川部長 黒川 純一良
	10:15~11:15	第 1 講義 気象災害から命を守る防災情報	大阪管区気象台気象防災部 次長 真木 敏郎
	11:15~12:15	第 2 講義 災害時の情報発信を効果的に行うには ~報道記者の視点から~	読売新聞大阪本社編集局 編集委員 川西 勝
	12:15~13:00	休憩	
	13:00~14:00	第 3 講義 TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の活動に ついて	国土交通省近畿地方整備局 総括防災調整官 岡山 公雄
	14:00~16:50 (休憩 10 分)	事例発表「各河川における取り組み」 (詳細については次頁を参照)	コーディネーター : 福井河川国道事務所長 森久保 司 アドバイザー : 京都大学名誉教授 池淵 周一 京都大学名誉教授 井上 和也 京都大学防災研究所教授 中川 一
	17:00~17:50	分科会オリエンテーション、意見交換	
第 2 日 1 月 30 日 (金)	9:30~10:00	分科会受付 (研修生のみ)	
	10:00~12:00	分科会 討議	※研修生は 10 名程度の小グループで議論 を深める
	12:00~13:00	分科会 討議内容取りまとめ	
	13:00~13:50	休憩 (13:20~ 聴講生受付)	
	13:50~14:50	特別講義 最近の水害から見えるハード・ソフト対策 の課題 (仮題)	京都大学防災研究所教授 中川 一
	14:50~15:00	休憩	
	15:00~16:30	パネルディスカッション ①命を守るための情報発信 ②総合的な治水対策の取り組み	コーディネーター : 姫路河川国道事務所長 奥田 晃久 パネリスト : 分科会発表者 (研修生) アドバイザー : 京都大学名誉教授 池淵 周一 京都大学名誉教授 井上 和也 京都大学防災研究所教授 中川 一
	16:30~16:40	閉講挨拶	公益財団法人河川財団 理事長 関 克己
16:40	閉 講		

※青字は研修生のみ参加のプログラム

平成 26 年度近畿河川技術研修は、公益財団法人河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

事例発表「各河川における取り組み」 発表タイトルおよび発表者

福井県 : 「福井県における土砂災害防止の取り組み」

福井県土木部砂防防災課 主事 李澤 正彦

滋賀県 : 「平成 25 年台風 18 号出水での堤防被災の特徴について」

滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室防災チーム 主任技師 糸澤 成希

京都府 : 「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策について」

京都府建設交通部河川課計画担当 副主査 松浦俊介

大阪府 : 「大阪府の「逃げる」施策の展開について」

大阪府都市整備部河川室河川整備課計画グループ 総括主査 山中 隆

兵庫県 : 「法華山谷川流域における総合治水の取り組みについて」

兵庫県加古川土木事務所復興事業課 主査 瀧川 聡

奈良県 : 「災害防止のための河川監視カメラシステムの構築」

奈良県県土マネジメント部河川課水防情報係長 松本 和大

和歌山県 : 「和歌山県における河川情報提供の取り組みについて」

和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課防災班 副主査 平田 宜也

(聴講生)

平成26年度 近畿河川技術研修 受講申込書

平成26年 月 日

申込機関名： 所 属： 担当者氏名：

住 所： T E L： F A X：

整理 番号	氏 名	フリガナ	年齢	所 属	役職名	E-mailアドレス	受講		備考
							1日目	2日目	
<例>	淀川 太郎	ヨドガワ タロウ	35	〇〇県 〇〇部 〇〇課 〇〇係	係長	yodogawa@kasen.or.jp	○		

- 注) ①太線の中に必要事項を記入し、メールでこの申込書を送付してください。
- ②受講を申し込まれた方は、E-mailアドレスも必ずご記入ください。
- ③「受講」の欄: 受講申込日に○印を記入してください。ただし、2日目は13時50分からの受講となります。(受付は13:20～13:50です)